

# 第2次木津川市ごみ減量化推進計画 【概要版】

## 第1章 計画策定の背景と基本事項

### ○計画策定の背景

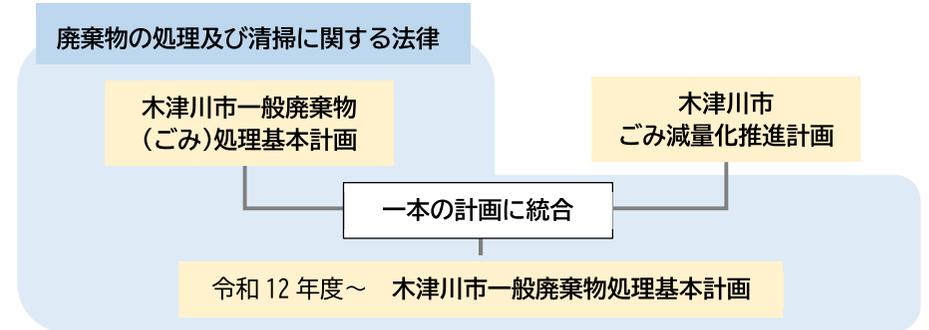
木津川市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画と併せて、市民・事業者・行政が一体となってごみの減量及び再資源化に取り組むための方向性と具体的施策を示すため、本計画を策定するもの。

### ○計画の基本事項

適用範囲：すべての一般廃棄物

目標年次：令和22年度当初

※木津川市一般廃棄物処理基本計画の前期期間（令和7年度～令和11年度）の評価・見直しに合わせて、本計画の中間評価及び見直しを行うとともに、同基本計画と統合予定。



## 第2章 ごみ処理の現状と課題

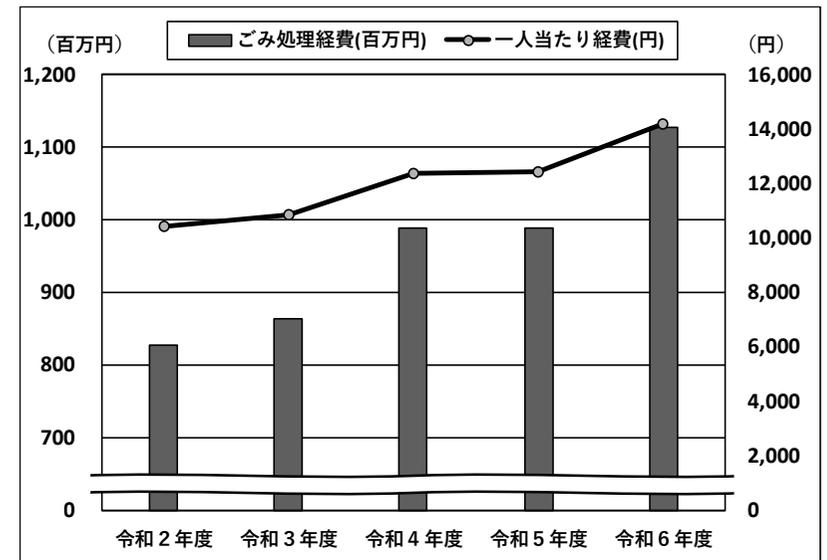
○人口の推移 本市の人口は令和4年9月に8万人到達後、減少傾向へ転換。

### ○ごみの排出量、ごみの処理経費の推移

人口の減少に合わせてごみの排出総量も減少していくと予想されるものの、ごみの処理経費は物価高・人件費増により増加傾向。環境負荷軽減の観点からも一人1日当たりのごみ排出量をいかに減らしていくかが課題。

### ○市民の意識の変化

令和7年8月にごみの減量やリサイクル等に関するアンケート調査を実施。前回（平成23年9月）の回答結果と比べ、物価高の影響もあり「 unnecessaryなものや食品を買いすぎないように心がける」、「不用品はインターネットオークション等」で売却するといったごみ減量の取組みに関する意見が増加。



### 第3章 ごみ減量目標

#### ○重点減量目標

家庭ごみの中で割合が高い可燃ごみのうち、以下の資源化可能物4品目について、個別の減量目標を設定し、重点的に減量に取り組む。

食品ロス	調理くず	古紙	プラスチック類
基準 33.4g →目標 30.0g △10%減	基準 78.6g →目標 66.8g △15%減	基準 30.2g →目標 25.6g △15%減	基準 32.7g →目標 29.3g △10%減

※基準…令和5年度実績 目標…令和22年度

※それぞれ一人1日あたり排出量

#### ○区分ごとの減量目標

可燃ごみ	ビニール・プラスチック 容器包装	燃やさないごみ
基準 389.7g →目標 342.2g △12%減	基準 32.6g →目標 31.0g △5%減	基準 35.6g →目標 32.0g △10%減

ペットボトル	粗大ごみ	事業系ごみ
基準 10.3g →目標 9.5g △8%減	基準 28.6g →目標 25.7g △10%減	基準 3,700t →目標 3,283t △11%減

※基準…令和5年度実績 目標…令和22年度

※それぞれ一人1日あたり排出量(「事業系ごみ」のみ年間総排出量)

### 第4章 循環型社会推進基金

#### ・基金活用事業 活用ガイドライン

有料ごみ袋の売上金を積み立てた循環型社会推進基金について、以下の3つの区分に活用し、ごみの減量と再資源化の更なる推進を図る。

区分1	区分2	区分3
<b>循環意識の醸成に資する事業</b>	<b>ごみの減量・再資源化に資する事業</b>	<b>ごみの適正排出・散乱防止に関する事業</b>
(1)ごみに関する情報発信に関すること (2)学校等における環境学習に関すること	(1)ごみの発生抑制や減量に関すること (2)ごみの再資源化に関すること	(1)ごみの収集拠点の整備・管理に関すること (2)不法投棄対策に関すること